

シンガポール グローバルイシュープログラム

Singapore Global Issues Program (SGIP)

「今、神戸大学の学生の皆さんがグローバル社会を理解する上で不可欠なテーマは何か」
世界の中の日本のこれからをシンガポールのグローバルハブから学ぶ

参加者募集

2026年8月上旬スタート

SGIPとは

シンガポール グローバルイシュープログラム (SGIP) は、グローバル社会を理解する上で不可欠なテーマは何か、そしてシンガポールというグローバルハブから知ることによってどのような新しい視点ができるかという点を、シンガポールの事例から学ぶ、海外大学レベルの集中プログラムです。

POINT 1	POINT 2	POINT 3	POINT 4	POINT 5
神戸大学の学生は単位として認定：総合教養科目「グローバルチャレンジ実習」（1単位）として認定。単位を取りながら、世界水準の学びを経験できます。	短期集中型：8月1日～9月7日の約5週間。事前・メイン8コマ・事後の全10コマで、体系的に学び切れる設計。	現地ゲストスピーカーを招聘：シンガポールで働く第一線のゲストスピーカーを4名招待。英語で直接話を聞き、質問し、議論できます。	現地大学生とのオンライン交流・ネットワーキング：同世代の海外学生と本音で語り合い、「日本の当たり前」を相対化できます。	ケースディスカッションを中心としたインタラクティブな授業設計：知識を詰め込むのではなく、自分の考えを形にする力を養います。

▶プログラムの詳細は裏面および特設ウェブサイト（下記QRコード）ご参照下さい。

ミツイ ヨシハル

ファシリテーター：三井幹陽 講師

海外在住30年
CLOラボ・シンガポール代表取締役社長
シンガポール国立大学ビジネススクール
特任講師

アジアを代表する企業のイノベーション
アドバイザーや人材育成を担当



学生へのメッセージ

これまでアジア企業のイノベーションに数多く関わってきましたが、今イノベーションが最も必要とされている分野はサステナビリティの分野です。
まさに進取の気性に富み、人間と自然を愛する神戸大学で学ぶ次代のリーダーを喫緊に必要としています。
是非このプログラムに参加し、シンガポールの先進事例を学び、最先端でリードしている人たちから直接話を聞き、社会・国・地域・地球を良くするオーナーシップを取りませんか？
皆様のご参加を心待ちにしています。

説明会

右記のイベントの中でプログラムを簡単に紹介します

■GCPフェア：4月8日（水）・9日（木） 12:20～13:00

会場：鶴甲第1キャンパス B109

■GCP報告会：4月22日（水）・24日（金） 15:10～17:00

会場：六甲台第2キャンパス 自然科学系図書館 4階イノベーションスタジオ

プログラムの詳しい紹介はこちら プログラムへの参加申込はこちら

概要・参加申込方法・メッセージ動画など

申込期限は5月31日(日) 17:00まで



お問い合わせ

- プログラムについて
国際コミュニケーションセンター・
教授 横川 博一
yokokawa@kobe-u.ac.jp
- 個人情報のお取扱いについて
(株)日本旅行神戸支店 担当：森田 歩
ayumi_morita@nta.co.jp

シンガポール グローバリイシュー プログラムとは

背景

「今、神戸大学の学生の皆さんがグローバル社会を理解する上で不可欠なテーマは何か」

現在、世界では AI の急速な進化、エネルギーと環境をめぐる制約、社会の分断と共生の課題、そして人材のあり方など、これからの社会を大きく左右する変化が同時に進行しています。これらは日本国内の視点だけでは捉えきれない側面を持っており、海外、とりわけ世界中の企業・人材・技術が集まるシンガポールから見つめることで、より立体的に理解することが可能になります。こうした考えに基づき、学生の皆さんが「世界の中の日本」、そして「これからの自分自身の立ち位置」を考えることができるよう、メインプログラムでは、以下の4つのテーマを設定しました。

プログラム

事前学修では、プログラムオリエンテーションおよびワークショップを通して、シンガポールとグローバリイシューについて学びます。事後学修では学びの成果を発表します。以下、**メインプログラム**の概要をご紹介します。

Theme ① AI時代の到来 ～世界はどこまで進み、日本はどこにいるのか～

現在、人工知能(AI)は社会のあらゆる分野に広がり、その能力も急速に進化しています。AIはすでに仕事の進め方、産業の構造、企業の競争力、そして国家のあり方そのものに影響を与え始めています。世界に目を向けると、AIが日常生活や産業に深く組み込まれている国もあれば、導入がまだ限定的な国もあります。この違いはなぜ生まれるのでしょうか。どの国や企業が最前線に立ち、何を実現しようとしているのでしょうか。このテーマでは世界の最前線で起きている変化を理解しながら、AI時代において社会がどのように変わり、日本がどの位置にいるのかを見つめます。

Theme ② エネルギー・環境・サステナビリティ ～テクノロジー時代の発展と持続可能性～

AIやデジタル技術の進化は、社会に大きな可能性をもたらす一方で、膨大な電力や資源を必要としています。世界各地では、データセンターの建設やエネルギー確保が重要な課題となり、環境との関係が改めて問われています。同時に、持続可能な社会をどのように実現していくのかは、世界共通の課題です。技術の発展と環境のバランスをどのように取るのか。各国はどのような選択をしているのか。このテーマでは、世界の現状を理解しながら、これからの社会におけるエネルギーと環境のあり方を考えます。

Theme ③ 社会課題と共生社会の ～多様な社会の中で共に生きるとは何か～

現代社会では、所得格差、世代間の違い、文化や価値観の違いなど、さまざまな社会課題が存在しています。テクノロジーの進化は新しい可能性を生み出す一方で、新たな分断も生み出しています。世界の多くの国では、多様な背景を持つ人々が共に生きる社会をどのように築くのが重要なテーマとなっています。このテーマでは、世界の事例を通じて、社会の課題とその向き合い方を理解し、これからの社会のあり方を見つめます。

Theme ④ 日本から見る世界、世界から見る日本 ～世界の中で、自分の未来を考える～

世界にはさまざまな価値観を持つ人々がいます。異なる教育、異なる文化、異なる考え方の中で、人々はそれぞれの未来を描いています。海外の学生との対話を通じて、日本がどのように見られているのかを知ることが、自分自身を見つめ直す機会になります。このテーマでは、世界の視点から日本を見つめ、これからの時代の中で自分自身がどのように生きていくのかを考えます。

〈読んで、聞いて、話す。シンガポールと、リアルタイムで〉授業は、[I]ケースディカッション、[II]ゲストスピーカーセッション、[III]現地大学生とのオンライン交流・ディスカッションの形態で、日本語・英語で行います。

■ プログラム費用

15名様以上 (お一人様)	20名様以上 (お一人様)
79,000円	60,000円

このプログラムはZOOMを活用したオンライン研修プログラムです

事前学修 (8月1日(土)午前)

事前学修(全2コマ)で、メインプログラムが始まる前に、シンガポールという国を理解し、グローバリイシューに関するワークショップを行います。本プログラムの修了要件となっている小レポート等についても説明します。

メインプログラムは、上記テーマ①～④を全8コマで集中学修!

海外大学同様、ケースディカッションなどインタラクティブに実施し、ゲストスピーカーによるトーク、現地大学生との交流とディスカッションも行います。

学外学修

(8月24日(月)午後、26日(水)午後、28日(金)午前、31日(月)午後)

事後学修 (9月7日(月)午後)

最後に、各自が選択したテーマについて、事前学修およびメインプログラムを通じた学びをレポートにまとめ、発表します。

